



瀬戸市国際センターニュース

第179号 2017年6月

発行人：瀬戸市国際センター 理事長 杉山 仁朗

Email setokoku@gctv.ne.jp <http://www.gc-net.jp/scic/>

☆☆☆ 国際センター事業の助成案内 ☆☆☆

平成29年度、瀬戸市国際センターの事業につきまして、下記の通り募集します。

瀬戸市国際センターでは、平成29年7月以降に瀬戸市を中心に行なわれる国際交流を推進する事業への助成を行っています。補助対象事業については下記の通りです。

各項目の詳細は、センター事務局までお問合せください。申請期間等は下記の通りです。

＜国際交流事業について、補助対象経費額が4万円以内の事業には新たな補助率が適応されます。＞

ぜひご活用下さい！

補助事業名	補助対象グループ	補助率	備考
1 国際交流事業	センター団体会員 個人会員で作るグループ(全員が会員であること)	【補助対象経費額が4万円以上】 補助対象経費額の1/2以内 (千円未満は切り捨て、ただし、上限20万円) 【補助対象経費が4万円未満】 補助対象経費額の4/5以内 (千円未満は切り捨て)	新規事業に限る
2 語学学習補助事業	センター団体会員 個人会員4名以上を含む8名以上のグループ	対象経費の1/3以内、上限3万円	3年間は継続申請可
3 こども国際交流基金事業	瀬戸市を中心として活動を行っている団体・グループ	対象経費の1/2以内、上限20万円	18歳未満の子どもを対象とした新規事業

- ◆補助対象事業：平成29年7月から30年3月までに行われる事業
- ◆申請期間：6月12日(月)から6月26日(月)必着
- ◆申請書類配布場所及び問合せ先：瀬戸市国際センター 事務局



※補助金の交付金額は、予算の範囲内での交付となります。申請金額すべてが交付決定されないこともありますので、ご承知おきください。

「瀬戸市国際センター会員交流会」

瀬戸市国際センター会員の交流会を開催します！！

会員同士の、繋がりを持ってもらうのを目的として交流会を開催いたします。

海外で働く会員の方のお話を聞きながら、楽しい時間を過ごしていただきたいです。

皆様の参加をお待ちしております。是非！！お友達と、お誘いあわせお出かけください。

日 時：平成 29 年 7 月 8 日 (土) 13:00～15:00

場 所：パーティセと 4 階 第 1 学習室

定 員：30名 抽選 (会員優先)

対 象：瀬戸市国際センター会員・会員のお友達

参加費：無料

申込方法：FAX、メールに下記をご記入の上、お申込み下さい。

- ① 講座名 「瀬戸市国際センター会員交流会」 係
- ② 参加希望者氏名・ふりがな (複数名可)
- ③ 会員・非会員
- ④ 性別
- ⑤ 住所
- ⑥ 電話番号・FAX番号・Eメール

FAX： 97-1171

Eメール：setic@gctv.ne.jp

メールの件名を「瀬戸市国際センター会員交流会」として送信ください。



【申込・問い合わせ先】

瀬戸市国際センター 瀬戸市栄町45番地
パーティセと3階

TEL：0561-88-2790

FAX：97-1171

Eメール：setic@gctv.ne.jp

お話しをして頂く会員の沢井美希様のご紹介です。

沢井 美希 名古屋市守山区在住

日本語・英語・ドイツ語・オランダ語 4ヶ国語が話せる、素敵な女性です。

高校時代は英語は追試でしたが、イーオン スクールマネージメントスタッフや語学を生かしお仕事をされて、

現在は有限会社トリオ商事 海外営業でドバイにてお仕事をされています。

趣味は旅行・カメラ・映画・ジム

サラリーマンのドキドキ ロシア交流記(前半)

ヒッポファミリークラブ 久野

2016年12月29日(木)～2017年1月5日(木)の日程でロシア・ハバロフスクでのホームステイ交流に参加しました。

交流初日は、午後の便で成田空港からウラジオストク空港まで行き、その後バスでシベリア鉄道の最寄り駅(ウリゴナヤ)に移動、シベリア鉄道に乗り込み、翌朝ハバロフスクに到着します。

ロシアというあまり馴染みの無い国に一人で参加するのはとても不安でしたが、今回は16家族19名で参加しており、ホストと合流するまでは一緒に行動するため、道中は楽しく過ごしました。

ハバロフスク駅にホームは無く、寒い中ホストの皆さんが待っていてくれました。到着したらホストの皆さんに「赤いサラファン」という歌を日本語とロシア語で歌おうと準備していたのですが、きっと寒い中長時間待っていてくれたホストたちは、早く行こうと同行の他のみんなを急かせ、一人、二人と減って行きます。私のホストにも急かされましたが、何とか待ってもらい、残った他のみんなと共に披露することができました。

ハバロフスク駅からホストの家までは、タクシーで向かいました。迎えに来てくれたのは、パパのルスダンです。

家に着くとママのイリーナが朝食を作ってくれました。出してくれたのは、マンカ マラコーというミルク粥です。

バターを入れてよく混ぜて食べます。甘くてトロツとしていて、日本にはない食べ物です。最初のロシア料理は、オドロキの味でした。

また、ルスダンは毎食ヴォッカを飲みます。「ロシアはヴォッカときゅうりのピクルスだ!」というルスダンの勧めで、朝からヴォッカで乾杯(ロシア語でザスタローピアと言います)。乾杯したら、くいと空けなければならず、空けたらすかさずきゅうりを食べるように言われます。

ルスダンとイリーナは二人で住んでいて、娘さんのオクサーナも近所に住んでいます。

オクサーナも今回のホームステイ交流の受け入れをしてくれていて、私はそのメンバーとほぼ行動を共にしました。

ルスダンとイリーナは二人とも料理が趣味で、ずーっとキッチンに立っています。キッチンのテーブルの向かいで二人を眺める席が私の定位置になり、私はずっとその席に座って、二人が料理を作るのを眺めていました。出来上がったら一緒に食べ、食べ終わったら次の料理を作るのを眺めるという生活でした。

色々な料理を作ってくれましたが、一番印象に残ったのは、ハラジェッツという豚の煮こごりです。豚の手と耳を煮込んで、煮込んで、さらに煮込むと肉が骨からほぐれて、ゼラチン質が溶けだしてきます。ほぼ1日は煮込んでたと思われます。分離した骨を丁寧に取り出して、冷やして固めれば完成です。手の込んだ料理を作るなあと思いました。

コラーゲンたっぷりのあっさりした味で、日本でも馴染みのある味でした。

このハラジェッツ、なんとからしをつけて食べるんです。ロシアに日本と同じからしがあるとは思いませんでした。

また、ルスダンはアゼルバイジャンの出身で、アゼルバイジャンの料理、プロフを作ってくれました。プロフとは日本でいうピラフです。鶏肉とサフランライス、お米は日本と違って細長いものでしたが、とても美味しかったです。

滞在中に二回作ってくれて、ルスダンの得意料理のようでした。

日本では全く料理をしないのですが、私もお返しに日本から持参したバーモントカレーを作って、食べてもらいました。(続きは次回へ、お楽しみに♪)

ライブラリーのお知らせ

本の整理をしますので、少しの間ライブラリーを閉鎖します。
休館は、6月19日からです。7月1日にライブラリー再開の予定です。
ご不便ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

外国語交流サロンより

パートナーの変更も
考えられます。
お電話かHPにて確認
ください。



交流サロンには多くの会員さんがパートナーとの交流にみえます。真剣な姿、楽しそうな話声や笑い声など、いろいろな微笑ましい場面を見ることができます。

サロンに興味を持って見える方、ぜひサロンに参加してみませんか？

会員さん同士も仲良くなれますよ。

6月	日にち	午前 Morning		午後 Afternoon	
		初級(begginer) 10:00~10:40 中級(intermediate)10:50~11:30	初級(begginer) 14:00~14:40 中級(intermediate)14:50~15:30	担当者 Partner	
10日	第2会議室	ナターシャ	第2会議室	イゴール	
17日	第1会議室	ナターシャ	第2会議室	未定	
24日	第1学習室	ロクサーナ	第2会議室	マリリン	

7月	日にち	午前 Morning		午後 Afternoon	
		初級(begginer) 10:00~10:40 中級(intermediate)10:50~11:30	初級(begginer) 14:00~14:40 中級(intermediate)14:50~15:30	担当者 Partner	
1日	第1学習室	ナターシャ	お休み		
8日	第1会議室	リナ	会員交流会		
15日	第2会議室	ナターシャ	第2会議室	イゴール	
22日	第1会議室	未定	第2会議室	イゴール	
29日	第2会議室	未定	第1学習室	未定	



編集後記

瀬戸市(六古窯)が日本遺産に登録されました。

将棋の藤井君の活躍も素晴らしいです。

過ごしやすい季節から雨や曇りがちの季節に移る頃となりました。体調にもくれぐれも気を付けてお過ごし下さい。

【小村・加藤】

発行 : 瀬戸市国際センター 事務局
〒489-0044 瀬戸市栄町4番地 パルティセと3階
TEL : 0561-88-2790
FAX : 0561-97-1171
E-mail : setokoku@gctv.ne.jp
URL : http://www.gc-net.jp/scic/
開館時間 : 月曜日～土曜日 8:30～17:15
休館 : 土曜日 12時～13時
毎週日曜日、祝日